

肝付兼行 （おとつぎ） 海軍軍人。嘉永六年二月十六日薩摩國生乳、大正十一年一月十二日歿（八十三）九二二。號伴鴻、伴鴻海客。肝付兼武の養子。明治五年海軍中尉任官、累進して中將。この階海軍大學校校長等歴任。四十四年貴族院議員、大正二年大阪市長。

譯書、（蘇密士）（ゼー、ハンブリン、スミス）著『靜重學』（明治十五年九月文部省編輯局）、露國海軍士官某著・チヤールス、ゼームス、クーク英譯『世界將來之海軍』（肝付伴鴻刪潤・内田魯陽譯、明治一

十九年六月二十四日春陽堂）、フ井リツプ著『小列國變局志』（一名世界大戦志）（森田恩軒）佐譯・曾我祐津總評、訂正再版、明治二十一年四月一日春陽堂）、シエー、テイ、ダンソン著『將來の海軍と商業』（久保田富太郎實譯、明治二十二年九月五日博文館）、『波魂濤魂』一名海軍美譚（譯編）、第一集、明治二十四年十一月二十日三省堂書店）等。

